



連載企画



www.seracare.com

メーカーの「いま」をお伝えする企画「メーカーだより」。第13回はLGC Clinical Diagnostics グループ (SeraCare) をご紹介します。

フナコシとLGCのつながりは30年前にまで遡ります。当時従業員がまだ50人にも満たなかった Kirkegaard & Perry Laboratories (メーカー略称: KPL)\* とフナコシは取引を開始し、ウェスタンブロットングやELISAなどに使用する最先端のライフサイエンス研究用製品を、日本の皆様にお届けしていました。

その後、KPL社はSeraCareに、そしてSeraCareがLGCに買収され、現在は北米やヨーロッパにまたがり5つの拠点をもち、450人以上の従業員を抱える大きなグループ企業へ成長しました。

## ゲノミクス診断開発のための研究をサポート

2015年にはメリーランド州の研究開発施設を拡張し、次世代シーケンシングやデジタルPCRなどの高度なゲノミクス研究用製品の開発に重点を置いた新しいビジネスユニットを立ち上げました。LGCとフナコシは、昨今のCOVID-19パンデミックに対する研究を、共にサポートしてきました。そしてこれからも人々の健康と豊かな生活のために、ライフサイエンス研究に貢献していきます。

## SeraCare の Seraseq NGS テクノロジー

次世代シーケンシング (NGS) 解析を成功させるには、試料となるDNAの精製・定量からライブラリーの構築とテンプレートの準備、バイオインフォマティクス解析におけるパラメーター設定まで、プロセス全体での正確さが求められます。

生体由来の試料には避けることのできないばらつきがあり、NGSのような高度な解析技術の標準物質として使用するには品質や安定供給の面で課題が残ります。

SeraCare ブランドの **Seraseq<sup>®</sup> NGS Reference Material** は、独自の製造方法で実際の患者試料に近いフォーマットを実現した人工の標準物質です。

SeraCare のもつ人工遺伝子合成技術と独自のノウハウにより、目的に応じた様々な形態 (精製DNA/RNA、精製循環腫瘍DNA (ctDNA)、血漿様マトリックス、および細胞株のホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 切片) に対応する、一貫した品質の標準物質の安定供給を実現しています。

### Seraseq<sup>®</sup> NGS Reference Material

Web ページ番号

68209



がんなどによる各種遺伝子変異解析用製品のほか、肥大型心筋症関連遺伝子解析、染色体異常解析 (NIPT)、HIV-1 の薬剤耐性株検出用製品をご用意しています。



\*社名の「Kirkegaard & Perry」は聞き慣れない単語ですが、創業者である二人 Kirkegaard 氏と Perry 氏の名前に由来しています。フナコシではその頭文字をとって「KPL」とメーカー略称を設定しました。時代は移って現在の社名はLGC Clinical Diagnostics Group ですが、この歴史を大切にするため、変わらず同じメーカー略称 (KPL) を使用しています。

## 販売店



フナコシ株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番7号  
www.funakoshi.co.jp info@funakoshi.co.jp

試薬: reagent@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1620

機器: kiki@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1619

受託: jutaku@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1645